

21世紀の農林業を拓く
やまぐち農林振興公社

こうしゃだより

vol.12
令和4年5月



適正に管理された造林地



森林経営管理制度実務担当職員研修



緑の募金活動(ゆめ花マルシェ)



農地中間管理事業を活用し地域の92%を集積

はじめに 理事長 桑原 恵利

コロナウイルス感染症により、皆様の暮らしや経済活動への影響が続いているところですが、やまぐち農林振興公社は、Web会議等のデジタル技術も積極的に活用しながら、県など関係機関や団体などと連携し、各種公益事業を積極的に進めてまいります。

1 農地の担い手への集積・集約化

「農地中間管理事業」では、農地バンク法改正などの環境変化にも的確に対応しながら、農業経営の基盤となる農地の担い手への集積・集約化を引き続き支援しています。

2 新たな担い手の確保・育成

「担い手支援事業」では、県内外からの意欲ある就業希望者等の就業・就業を促進するため、相談から現地見学、就農体験までの一貫した支援を進めています。



3 農林漁業者の所得向上と地域の雇用創出

「6次産業化・農商工連携事業」では、「やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター」において県産農林水産物を活用した商品開発や販路開拓等の支援を行うとともに、人材育成研修や農林水産事業者と商工業者との交流会の開催等を一体的に実施するなど、総合的な支援を進めています。

4 公益的機能にも配慮した森林整備と緑化推進

「分収造林事業」では、経営改善計画等に基づき事業の経営改善を着実に進めています。

「緑化推進事業」では、緑の募金運動を積極的に展開するとともに、募金を活用した緑を守り育てる取組みを進めています。

「森林経営管理支援事業」では、「やまぐち森林経営管理サポートセンター」において、森林経営管理法に基づき市町が行う森林経営管理制度等に関する業務をサポートし、市町の円滑な制度運営を支援しています。



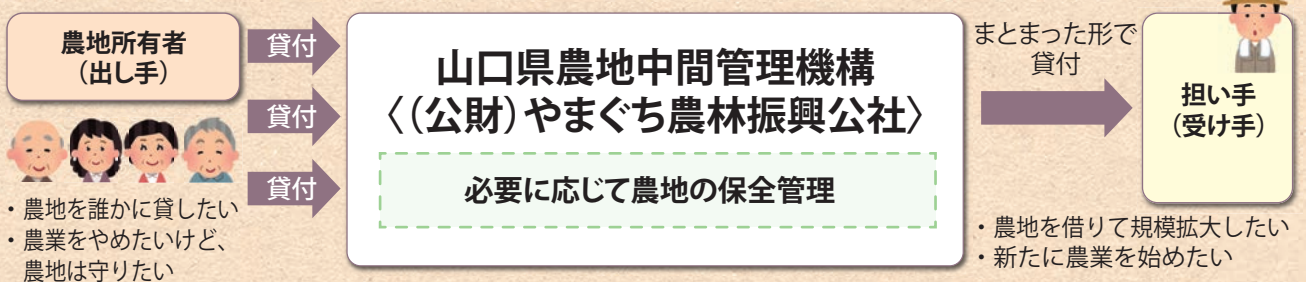
農地中間管理事業を活用しましょう!

農地中間管理事業とは…?

農業からリタイアする方や経営規模を縮小したい方の農地を農地中間管理機構がお借りし、まとまった形で担い手(集落営農法人・農業参入企業・認定農業者・新規就農者等)にお貸しするもので、平成26年度から始まったしくみです。

山口県では、公益財団法人やまぐち農林振興公社が山口県知事から農地中間管理機構の指定を受け、農地中間管理事業を実施しています。

【イメージ】



地域の将来を見据えた農地の集約化とは

担い手の農地の分散化や高齢化の進展が著しい地域では、効率的な経営を行うため、担い手(受け手)に農地を集約化するための話し合いが望まれます。その際、機構を活用した地域では機構が所有者(出し手)から農地をまとめて借り受け、担い手(受け手)の実情に応じて貸し付けることで農地の集約化が可能となります。



表紙の説明

防府市大道干拓地区(90.3ha)では、地域の担い手が個々に耕作しているが、高齢化が進んでおり、いつ離農するとわからない状況であったため、地域の農地の借賃を統一し、将来を見据えた農地の集積・集約化の取り組みを実施

●農地中間管理事業の実施優良事例

～防府市奈美地区 農事組合法人 奈美ファーム～

取り組みのポイント

13名の有志で始まったほ場整備と法人化!
 今後は周辺他地区へ事業が波及することを期待!



経緯

- 平成25年 1月 高齢化や担い手不足が深刻化する中、13名の有志が集まり「奈美地区農地の未来を考える会」を立ち上げ、協議を開始しました。
- 平成27年 4月 その後幾多の協議を重ね、まずは「多面的機能支払交付金」を活用して奈美地区の保全活動に取り組むとともに、平成28年 5月には「奈美地区ほ場整備準備会」を設立しました。
- 令和 2年 4月 「奈美ほ場整備事業」が認可され、翌 3年 8月には農事組合法人 奈美ファームを設立すると同時に、11月には農地中間管理機構を通じて全対象従前地32haを集積し法人に貸付けました。
- 現 在 ほ場整備は順調に進んでおり、今後は周辺奈美地区はもとより、他地区へも事業が波及することを期待しています。

奈美地区 ほ場整備スケジュール



担い手・新事業
支援部
担い手支援課

意欲的に農林水産業に取り組む方をサポート!

就農・就業の総合相談窓口

本気で農業を始めたい方を応援します! やまぐちの大地で夢を育てませんか?
担い手支援日本一! 県内での就農・就業を希望される方に一貫した手厚い支援を行います。



●相談

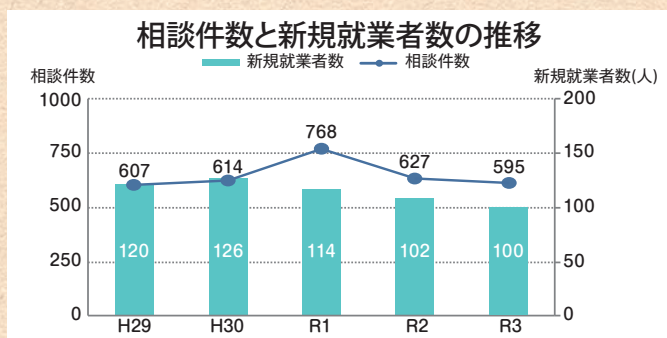
オンラインでの相談対応
県内→農林水産業新規就業ガイダンスなど
県外→首都圏等就農相談会、新・農業人フェアなど

●見学

やまぐち就農ゆめツアー・
現地就農体験など

●研修

やまぐち就農支援塾など



※オンラインでの相談対応も実施中です。



新規就業ガイダンスの様子

「移住就農加速化事業」で、本県独自の取組を積極的に展開しています。

1 大都市圏等就農相談会

首都圏以外の大都市圏(大阪、広島、福岡)にも拡大して就農相談会を開催し、山口県への移住就農希望の掘り起こしを行います。

各相談会への市町、法人等からの積極的な参加をよろしくお願いいたします。



オンラインも活用しながら、開催します。



イベント会場の山口就農相談ブースの様子



県内外の相談者にオンラインでの対応の様子

2 やまぐち就農ゆめツアー（オンラインツアー）

移住就農希望者のニーズに対応した現地見学会や就農相談会を市町等と連携して実施するとともに、希望者には農作業体験等も行うなど、山口県へ、来て・見て・体験できる取組を積極的に進めています。

昨年度は新型コロナ禍のため、オンラインによるツアーを企画して、現地のビデオ紹介・相談会を実施しました。

本年度もオンラインを主体に行うとともに、市町独自のツアー開催を支援します。

【令和4年度】

第1回	9月開催	第2回	11月開催
その他：市町独自開催予定（3回）			

※コロナウイルス感染拡大防止のため、変更する場合があります。



ツアー開催本部の様子※参加者はモニター内



ツアー開催中の動画放映の様子

3 県内果樹産地の経営継承に関する情報の提供

県から受託した「やまぐち「農の継活」スタートアップ推進事業」で、県内の果樹産地の経営継承に関する情報を掲載したHPを開設しました。

県内産地毎に継承希望内容をご紹介します。



(HPトップ)



美祿市秋芳町



山口市徳佐



周防大島町

山口県の果樹産地の経営継承に関する情報の提供です。
果樹で、農業経営をしませんか。
スマホ、PCで気軽に情報収集できます。
農の継活のホームページです。（農林振興公社 HPアドレス内）

<https://nounokeikatsu.com>



担い手・新事業
支援部
新事業支援課

6次産業化・農商工連携を 支援しています



「やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター」では、関係機関等と連携し、各種事業に取り組んでいます。

国事業関連

- 6次産業化に取り組みたい方へのアドバイス等の実施
- 6次産業化に取り組んでいる方に対し、収益や付加価値額向上等に向けた支援
- 「人材育成研修」による6次産業化・農商工連携に取り組む担い手の育成



人材育成研修(講座)



プランナーによるアドバイス

県事業関連

- 「やまぐち6次産業化・農商工連携推進事業」に基づく「事業計画」の認定支援
3事業者 8商品の支援を決定

事業者名(所在地)	事業計画名	新商品の概要	
株式会社ピュアラインにしき (岩国市)	山口県産イノシシ肉を使った食品の商品開発	自社で解体したイノシシを活用した、しし肉ハンバーグ、しし肉カレー	
楠むらづくり株式会社 (宇部市)	山口県産の野菜・果物を使った新商品開発及び販路開拓	県産の農産物を使用した4種のアイスクャンディー	
山口県漁業協同組合 吉佐統括支店 (防府市)	吉佐地区で水揚げされたハモを使った新商品開発及び販路開拓	県産のハモを使用した骨切フィレの生ハモ、急速冷凍ハモ	

- 「やまぐち6次産業化・農商工連携商品登録制度」に基づく商品の登録支援(R3:13商品)

(菓子)	登録商品名	事業者名(所在地)	商品	(魚介)	登録商品名	事業者名(所在地)	商品
	下関産の梨を使った「梨チップス」	有限会社 玄洋社 (下関市)			あぶの粕漬け (真鯛)	あぶの空 (阿武町)	
	マメナミルク	Mamena (下関市)			あぶの粕漬け (キジハタ)	あぶの空 (阿武町)	
	寿桃包子	株式会社敦煌 (山陽小野田市)					

※詳細は、「山口グッと産品」のカタログを参照してください。

(調味料)

(飲料)

登録商品名	事業者名(所在地)	商品	登録商品名	事業者名(所在地)	商品	登録商品名	事業者名(所在地)	商品
おからパウダー	農事組合法人 うもれ木の郷 (阿武町)		瀬戸内の ゆずチェッコ 〜生〜	有限会社 瀬戸内ジャムズ ガーデン (周防大島町)		tsunagu 純米吟醸 (720ml)	株式会社 つなぐファーム (周南市)	
はるちゃん農園 アスパラ ドレッシング	株式会社 エスケイサービス (下関市)		万寿焙煎茶 (パイヤリーフティー)	亜細亜物産 株式会社 (平生町)		tsunagu 純米吟醸 (1800ml)	株式会社 つなぐファーム (周南市)	
			とくぢみそ あまざけ	とくぢ味噌 株式会社 (山口市)		瀬戸内の 生レモンチェッコ	有限会社 瀬戸内ジャムズ ガーデン (周防大島町)	

事業認定・商品登録事業者を
対象にしたフォローアップ

- 県域の推進大会開催による事業者間交流や都市圏の商談会へ出展する事業者を支援



協議会会長挨拶



交流会



田中総合プランナーによる講演



藤本総合プランナーによる
オンライン商談会の開催

県内事業者の県外での販路拡大を支援

- 総合プランナーによるバイヤー紹介やディスプレイのアドバイス等を実施



スーパーマーケット・トレードショー



FOOD STYLE Kyushu 2021

サポートセンターホームページURL

<https://www.6sapo-yamaguchi.org>

Eメールアドレス

info@6sapo-yamaguchi.org



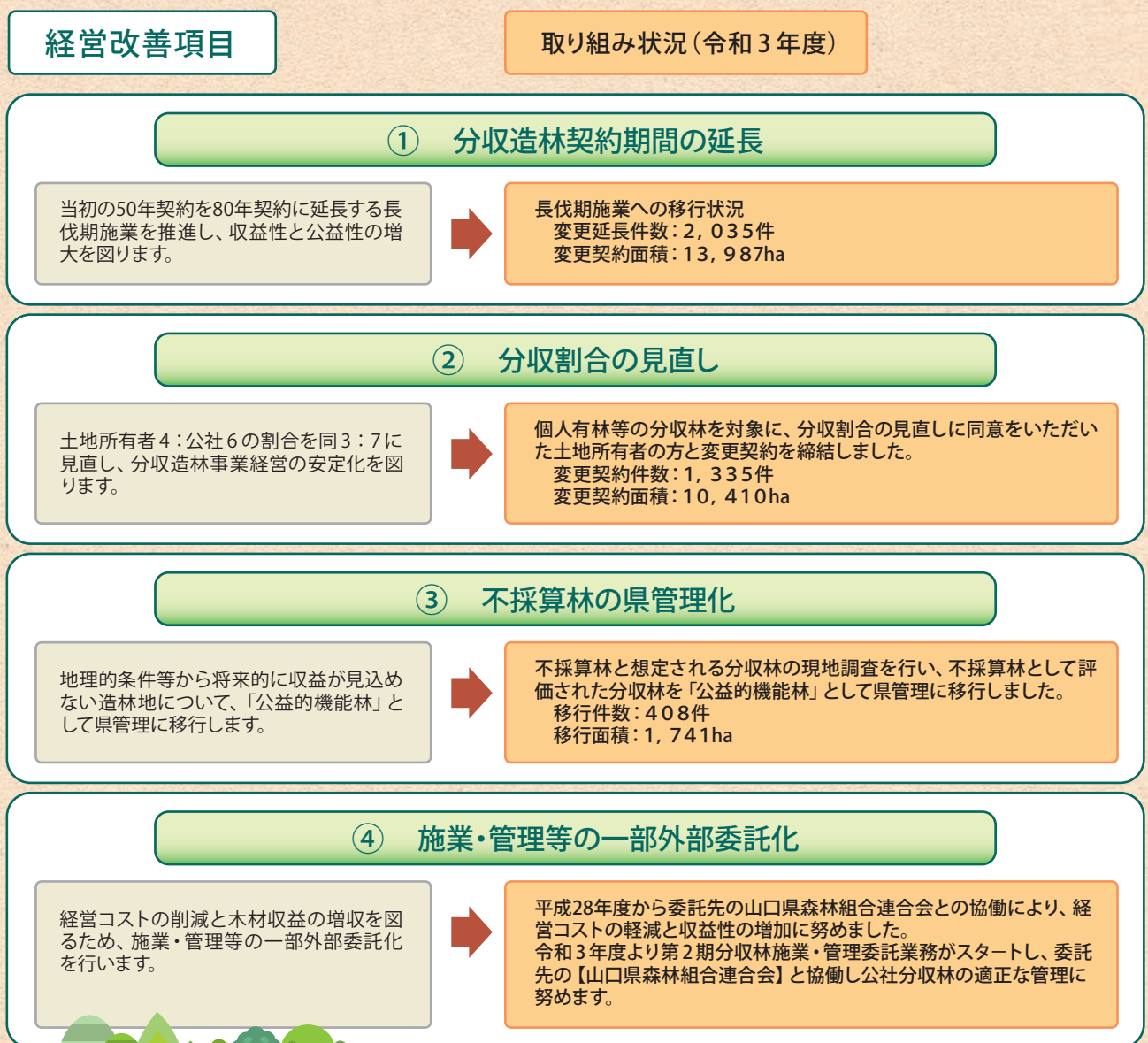
分収造林事業経営改善計画の取り組み

平成26年3月に策定した「分収造林事業経営改善計画」に基づき、次の4点の経営改善項目について、取り組んでいます。なお、平成31年3月に「分収造林事業経営改善計画」を見直し、3点の項目（低コスト化、未利用材の活用、補助事業の活用）を新たに追加し経営改善に向けて、職員一丸となって取り組んでいます。

皆様には、今後とも公社分収造林事業の円滑な推進に向けて、特段のご理解とご協力をお願いします。



経営改善計画（H26年3月策定）の内容と令和3年度の取り組み



参考：契約件数(2,079件)、契約面積(14,229ha) 令和4年3月末現在

分収造林事業の実績



施業・管理等の一部外部委託化を導入後、第2期分収林施業・管理委託業務の1年目となる令和3年度分収造林事業の実施は次のとおりです。

■ 森林整備事業 ■

当会社では、造林木の生育状況に応じて必要な森林整備を行っています。国、県の補助金を活用し、間伐などの森林整備を約301ヘクタール実施しました。

区 分	保育間伐	利用間伐
事業量	227ha	74ha

利用間伐実施

■ 作業道開設事業 ■

搬出コストの削減を図るため、作業道を開設しました。

区 分	作業道開設
事業量	13,482m

■ 作業道開設に伴う皆様へのお願い ■

低コストによる利用間伐や適切な森林管理を進めていくには、作業道が必要です。
作業道開設に当たっては、土地所有者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

■ 土地所有者(分収造林契約者)の皆様へのお願い ■

～分収造林契約書のご確認を～

- 相続等で土地所有者の方に変動があった場合
土地所有者の方が死亡されるなど所有者に変動があった場合は、「土地所有者の変動届」を必ずご提出ください。
- 公社造林地を使用したいとの申し出があった場合
高圧電線の支障木伐採等、第三者から公社造林地を使用したいとの申し出(情報等)がありましたら、その第三者に公社への事前協議をするようご指導ください。



「緑の募金」により県土緑化をサポート!



県土緑化を推進するため、県下全域で「緑の募金」運動を積極的に展開するとともに、募金を活用して身近な緑を守り育てる活動を支援しています。



緑の募金

〈令和4年〉
目標額 **25,000,000円**

募金
期間

春期: 3月1日～5月31日
秋期: 9月1日～10月31日



街頭募金

「緑の募金」事業

緑化の普及啓発事業、学校や地域の緑化活動事業を展開しています。



森林体験活動
(ミニ門松づくり)

地域緑化活動への支援

緑化ボランティア団体等の活動支援
さくらプラン21による緑化の促進
市町緑化推進協議会等の活動支援



木のつみきの配布

学校緑化活動の支援

学校・幼稚園等緑化活動の支援
苗木・樹木名板の配布
ポスター原画コンクールの開催



緑の募金キャンペーン秋
(レノファ山口試合会場)

普及啓発

県土緑化運動の展開
緑の募金キャンペーンの実施
やまぐち緑の回廊ツアーの開催
緑の募金チャリティーコンサートの開催

やまぐちサポーター企業 緑の募金事業

- 「やまぐちサポーター企業」に認定されている企業からの緑の募金を財源としています。



ボランティア団体の活動支援



やまりん文庫の提供

「緑の基金」事業

- 「山口県緑の基金」を活用し、皆様の近くの公共公益施設等に緑化木を無償配布しています。

「緑と水の森林ファンド」 事業

公益社団法人国土緑化推進機構からの助成を受けて

- 「記念の森」を造成する団体等に、苗木・看板設置等の助成を行っています。
- 学校や緑の少年隊による森林環境教育活動を支援しています。



市町が行う森林経営管理制度等に関する業務(森林整備等の取組)をサポート!

「森林経営管理法（平成31年4月1日施行）」に基づき創設された、市町が行う森林経営管理制度等の業務を支援するため、「やまぐち森林経営管理サポートセンター」を開設しています。（県からの業務受託）

当センターでは、市町が本制度の活用により実施する森林整備等の取組が着実に進むよう、森林・林業に関する技術的な助言や相談対応等をきめ細やかに行ってまいります。

【森林経営管理制度とは】

経営管理が十分でない森林について、市町が意欲と能力のある林業経営者に委託すること等により、適切な経営管理を行う制度のことです。

業務推進体制

「やまぐち森林経営管理サポートセンター」において、県及び関係団体と連携して市町の業務を支援します。

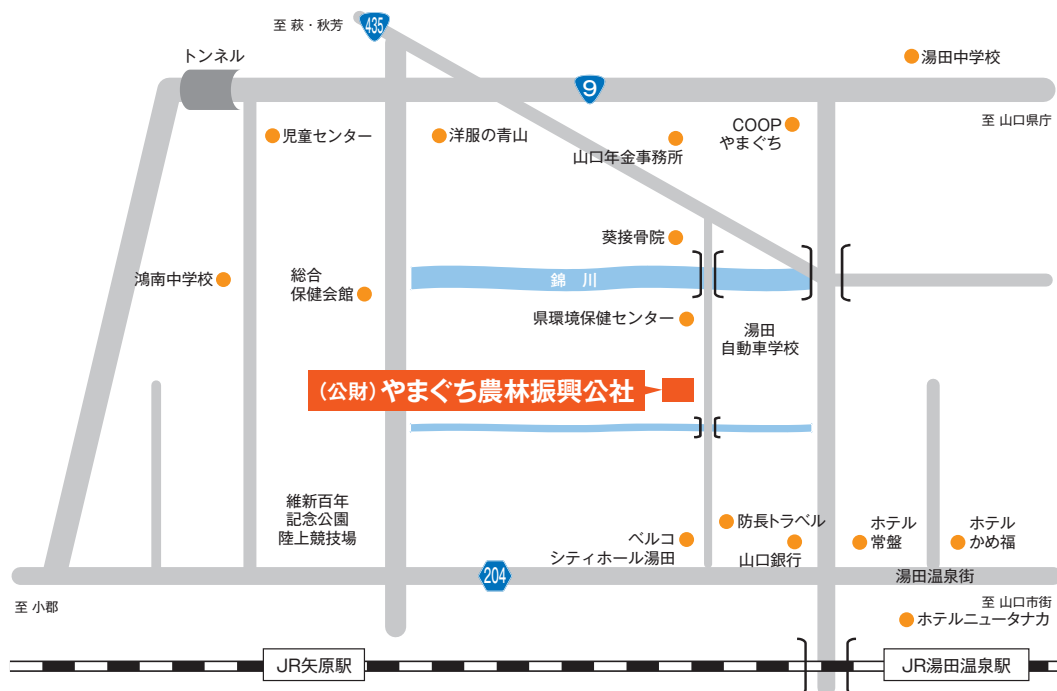
主な業務内容

- 市町が行う「森林経営管理制度」の実務に関する相談対応
 - ・意向調査の事前準備（全体計画作成等）、意向調査に対する業務
 - ・経営管理権集積計画、経営管理実施権配分計画の作成に係る業務
 - ・市町村森林経営管理事業の実施に関する業務 等
- 森林環境譲与税を活用した森林整備事業等の創設などに関する助言
- 市町を対象とした森林経営管理制度に関する実務研修会等の開催
- その他
 - ・関係情報の収集、発信（ホームページ等の活用）等



森林経営管理制度実務
担当職員研修の実施状況

※ 市町・県等担当職員の参加



公益財団法人 やまぐち農林振興公社
〒753-0821 山口県山口市葵二丁目5番69号
<https://www.y-agreen.or.jp>



総務部
TEL (083) 924-8100 (代) FAX (083) 924-0742

農地中間管理事業部
TEL (083) 924-0067 FAX (083) 924-5719

担い手・新事業支援部
TEL (083) 902-6696 FAX (083) 924-0742

森林部
TEL (083) 924-5716 FAX (083) 924-5719

